

明和病院 腎・透析部専攻医プログラム

卒後研修で求められることは、幅広い経験を積んで患者さんを全体的にまた専門的に診ることのできる能力を持ち、また厳しい医療情勢の中で勝ち抜いていくための高度な専門知識、手技を身につけることが要求されます。当部では、3年目以降は修得した内科一般の知識に加えて、当院内科、外科、兵庫医科大学内科（腎・透析学科）と協力し、腎臓内科、透析をはじめとする各種の血液浄化のより専門的な研修を行い、研修終了後は内科認定医、透析専門医の資格を取得できるようにします。

（研修目標）

到達目標

1. 腎疾患において検査から診断にいたるまでの計画を立て、実行できる。
2. 超音波検査、X線検査などの非侵襲的検査を施行、読影できる。
3. 各種腎疾患の治療計画を考え、実行できる。
4. 末期腎不全に対し、透析療法の適切な導入等治療が行える。
5. 血漿交換、吸着療法などの血液浄化法の原理について理解し、施行できる。
6. 透析に用いる内シャント作成術において助手を務められる。
7. 透析時内シャント穿刺に習熟する。
8. 透析用ブラッドアクセスのカテーテルを指導者の監督下に自分で挿入できる。
9. 透析患者の合併症を理解し、診断、治療を行うことができる。
10. 腎不全患者の薬剤の使い方を理解し、処方できる。

1年目

内科疾患を全般的に経験、修得するために本院内科や救急医療にも携わる。腎・透析部においては、指導医のもとで病棟業務に携わり、上記目標達成に向けて専門的な診断、治療、技術を学ぶ。

2～3年目

腎・透析の専門研修となり、主に入院患者の診療を行い、外来診療にも携わる。各種腎炎や保存期腎不全を診断、治療ができる。透析療法におけるダイアライザー、抗凝固剤等の決定を行い、個々の患者に最も適合した透析を行えるようにする。また、院内で発生する血液浄化を必要とする疾患に対し、その疾患に適した血液浄化を決定、施行できるようにする。透析用の内シャントを血管外科医とともに作成でき、シャント閉塞などのシャントトラブルに対しても対処できるようにする。腎・透析に関する学会での研究発表、論文作成も行うようにする。一方、兵庫医科大学（腎・透析学科）や他の診断、治療設備の充実した医療機関に出向し腎炎等のより専門的知識の習得も行うことができる。